

笑わない数学者の問題

hiragn

2024 年 12 月 16 日

「算数にチャレンジ!!」第 1131 回の問題^{*1}を解いた。

正五角形の各頂点に丸い枠があり、その 1 つに 1 が記入されている。残りの 4 つの枠（時計回りにア～エとする）にもそれぞれ数が記入されている。

隣どうしでつながっているいくつかの数（1 つ～5 つ）を取り出して和を求める方法は全部で 21 通りある。この和で 1 から 21 までのすべての数を作ることができるときのイとウの和を求めよ。

<http://www.sansu.org/used-html/index1131.html>

1. 全パターン調べる

21 通りの和がすべて異なることからア～エが相異なることは明らか。どれか 1 つは 2。

ア～エのうち 2 でないものを大きい順に並び替えたものを a, b, c とする。

$$a > b > c > 2 \quad \cdots \cdots \textcircled{1}$$

また $a + b + c + 1 + 2 = 21$ から $a + b + c = 18$ $\cdots \cdots \textcircled{2}$ もわかる。

$c = 3$ かどうかはわからない。1 の隣に 2 を置いて $1 + 2 = 3$ を作ることもできるし、1 の隣に 2 を置かずにどこかの枠に 3 を置くこともできる。場合分けが面倒なので、この後の計算は mathematica にやってもらった。

1. $\textcircled{1}\textcircled{2}$ をみたす $\{a, b, c, 2\}$ を作る
2. 1. の結果を Permutations を使って並び替える
3. 21 通りの和がすべて異なるものを抽出する

^{*1} この問題文は原題を適当に書き換えたもの。

```

1 In[]:= Clear["Global`*"];
2 RepeatedTiming[
3   eqn = {a + b + c == 18, d == 2, a > b > c > 2};
4   sol = Values /@ Solve[eqn, {a, b, c, d}, Integers];
5   lst = Flatten[Permutations /@ sol, 1];
6   calc[lst_] := Module[{a, b, c, d},
7     {a, b, c, d} = lst;
8     If[DuplicateFreeQ[{a, b, c, d,
9       1 + a, a + b, b + c, c + d, d + 1,
10      1 + a + b, a + b + c, b + c + d, c + d + 1, d + 1 + a,
11      1 + a + b + c, a + b + c + d, b + c + d + 1, c + d + 1 + a,
12      d + 1 + a + b},
13      b + c, Nothing]];
14   ans = First@DeleteDuplicates[calc /@ lst]]
15
16 Out[] = {0.00436723, 12}

```

①②をみたま $\{a, b, c, 2\}$ は 7 通りあった。ソート済みのものを載せておく。

$\{2, 5, 6, 7\}, \{2, 4, 6, 8\}, \{2, 3, 7, 8\}, \{2, 4, 5, 9\}, \{2, 3, 6, 9\}, \{2, 3, 5, 10\}, \{2, 3, 4, 11\}$

21 通りの和のうち実際に調べたのは次の 19 個。1 と $1 + a + b + c + d$ が他の項とダブらないのは明らかなので、これらは除外した。

$a, b, c, d,$
 $1 + a, a + b, b + c, c + d, d + 1,$
 $1 + a + b, a + b + c, b + c + d, c + d + 1, d + 1 + a,$
 $1 + a + b + c, a + b + c + d, b + c + d + 1, c + d + 1 + a, d + 1 + a + b$

条件をみたま 5 数は次の 2 組だった。これらは五角形の中心と頂点 1 を通る直線に関して対称な配置になっている。

$(1, 5, 2, 10, 3), (1, 3, 10, 2, 5)$

求める和は $2 + 10 = 12$ 。

2. 元ネタについて

これは『笑わない数学者』（森博嗣，講談社ノベルス）に載っている問題らしい。^{*2}

さて、では、もう一つ問題を出そう。五つのビリヤードの玉を、真珠のネックレスのように、リングにつなげてみるとしよう。玉には、それぞれナンバーが書いてあるな。さて、この五つの玉のうち、幾つ取っても良いが、隣どうし連続したものしか取れないとしよう。一つでも二つでも、五つ全部でも良い。しかし、離れているものは取れない。この条件で取った玉のナンバーを足し合わせて、1 から 21 までのすべての数ができるようにしたい。さあ、どのナンバーの玉をどのように並べて、ネックレスを作れば良いかな？（p.58）

^{*2} 本に解答は載っていない。